

## 学内演習の有効性についての一考察

吉本典子

九州女子短期大学子ども健康学科 北九州市八幡西区自由ヶ丘1-1 (〒807-8586)

(2020年6月5日受付、2020年7月8日受理)

### 要旨

幼稚園教諭・保育士資格取得を目指す学生は規定の科目履修、演習科目を終了し、資格を取得するために多くの臨地実習、教育実習を経験する。実習先での評価、自己肯定感が将来の保育者としてのやる気に繋がってゆくことは、就職を考える学生と面談をすると多く感じられるところである。本大学では授業フィードバックアンケートを実施しており講義に対しての全般的な評価は数値で示される。しかし、保育必修・選択科目の子どもの健康と安全の授業を受け持ち、日常に必要な養護、救急処置、感染対策の演習をおこなってきた演習項目が保育所、幼稚園、施設でどのように活用されたか、実施することがあったのか、知識として役にたったのはフィードバックアンケートでは読み取れず、今回実習先で学内演習がどのように役立ったのか一つの各演習項目についてアンケート調査を行った。

学内の演習では、日常に必要な養護としてデモ人形で実施できる5項目(抱っこ・寝かせ方、調乳・授乳、衣服着脱・おむつ交換、身体計測、沐浴演習)、学生自身が被験者になれる項目(バイタルサイン・健康観察、吐物処理、救急処置、手洗い)を実技演習し、補足部分については、講義に取り入れるようにしている。今回その演習内容を実習先で、「4. とても参考になった」「3. 参考になった」「2. あまり参考にならなかった」「1. 全く参考にならなかった」の4つのどれに該当するのか学生に調査した。実習先の子どもの年齢、障害の有無によっても評価はわかれたが、実際に体験したものについては「4. とても参考になった」「3. 参考になった」と評価し、実施していない、見学していないというものについては、「1. 全く参考にならなかった」「2. あまり参考にならなかった」の評価となった。(自由記述には将来の育児に役立つという意見も多くあった)。実施していない、見学していないからこそ学内演習で技術の根拠となる知識をしっかりと身に付けることのできるように、演習内容とともに授業内容を考える必要がある。

キーワード：保育士, 学内演習, 授業内容

### I. はじめに

社会情勢(特に子どもを取り巻く環境)の変化によって保育所や保育者の役割や機能は近年拡大している。保育所保育指針の改訂(H30年4月から適用)がなされ、より実践力のある保育士養成に向けて平成29年12月、厚生労働省・保育士養成課程等の見直しについての概要が発表されている。その中で主な情勢の変化は「子ども・子育て支援新制度」の施行(H27.4)保育所利用児童数の増加(1・2歳児保育所等利用率: 31.0%(H23)→45.7%(H29))子育ての負担や孤立感の高まり、児童虐待相談件数の増加(59,919件(H23)→122,575件(H28))の3点が報告されている。

私が受け持った科目を検討会での見直しの方向性に当てはめてみると、保育士養成課程の教科目では、養護の視点を重視することとなり、学生は保健的観点に基づく保育の環境整備や健康・安全管理の実施体制などの実践的な力が必要であり、そのためには衛生管理、安全管理を適切に対応・遂行するための知識・技術を習得させることが求められる。今回、学内演習の内容が実際に実習で活かされているのかアンケートを取り、本学に在籍する保育士資格取得の学生により有効な教授方法や演習内容について検討し、学生に帰依することを目的とし本研究をおこなった。

### II. 研究方法

- 1 対象者 : K短期大学 保育士資格取得希望者 96名
- 2 データ収集時期 : 令和元年11月27日

- 3 データ収集方法 : 1年後期に子ども保健学演習の講義・演習が終了し、保育所・幼稚園・施設の実習を終えた2年後期に、学内での演習項目が実習先でどのように活用されたか、実施することがあったのか、知識として役にたったのかの説明後、アンケート用紙を配布、記述後回収とした。
- 4 データの分析方法 : 子ども保健学演習でおこなった学内演習項目をそれぞれの実習先でどの程度実践したのか、実習中に参考になったのかを集計し現状を分析する。
- 5 アンケート内容

アンケート用紙は、実習施設における学内演習の有効性の内容検討の意味から、保育所・幼稚園・施設それぞれにおこない、対象年齢、職員構成を質問したのち、日常に必要な養護としてデモ人形で実施できる「抱っこ・寝かせ方、調乳・授乳、衣服着脱・おむつ交換、身体計測、沐浴演習」の5項目。学生自身が被験者となり演習した4項目「バイタルサイン、健康観察、吐物処理、救急処置、手洗い」について、「4. とても参考になった」「3. 参考になった」「2. あまり参考にならなかった」「1. 全く参考にならなかった」のどれにあてはまるかを調査した。またそれぞれの項目について自由記載の感想欄をもうけるとともに、学内演習をしてほしいものがあるのかを質問した。

### III. 倫理的配慮

調査の実施にあたっては、対象者に研究の主旨と研究参加の自由意思の尊重について説明し、個人が特定されないようプライバシーを確保することやデータについては教員の教育内容に反映するためのものであり、記述内容によって、不利益が生じないこと、アンケートの管理に十分留意することを口頭および文書で十分に説明をし、承認を得てアンケート調査を行った。

### IV. 結果

アンケートは3枚一組(表1)とし、資格取得の種類(幼稚園教諭と保育士、養護教諭と保育士)によって実習先は違いがあり、回収率は保育所96名中96名(100%)幼稚園実習56名中56名(100%)施設実習82名中82名(100%)アンケート項目の内容によって、無記入がみられたが、自由記載のところでは、していません、見学もありませんと記入されており、アンケートの記入不備とは考えられず除外していない。アンケート集計結果は、%計算を行い小数点以下を四捨五入し、整数で表記した(表2)。

#### 1. 保育所実習

保育所では実習期間中、未満児から年長まで各年齢層を重複して経験していた。0歳児88名。1歳児88名。2歳児86名。3歳児88名。4歳児92名。5歳児89名。保育所に看護師がいたかの設問にはいないとした学生が59名、いました19名、わからない18名であった。実習での演習項目別の内容1.抱っこ、寝かせ方は86名(90%)の学生が「4)とても参考になった」「3)参考になった」としており、のこりの10パーセントは「2)あまり参考にならなかった」7名、「1)全く参考にならなかった」3名であった。0歳児のクラス担当のときとても助かった、役立ったとする学生が多かった。2.調乳・授乳では、「4)とても参考になった」20名(21%)「3)参考になった」18名(19%)「2)あまり参考にならなかった」24名(25%)「1)全く参考にならなかった」29名(31%)であった。記入なしも4名(4%)みられた。実際は、していない、みていないので低い評価になったようである。3.衣服着脱・おむつ交換では、「4)とても参考になった」61名(64%)「3)参考になった」24名(25%)「2)あまり参考にならなかった」7名(7%)「1)全く参考にならなかった」3名(3%)であった。記入なしは1名(1%)4.身体計測では、「4)とても参考になった」16名(17%)「3)参考になった」21名(22%)「2)あまり参考にならなかった」26名(27%)「1)全く参考にならなかった」27名(28%)であった。記入なしは6名(6%)学内演習では新生児人形(50cm・約3kg)を使用しての身体計測であり、立位がとれる、体重計に乗れる場合の計測は講義のみであり、留意点や注意することについて教えていてもすぐ役にたったとは思えなかったのだろう。5.バイタルサイン・健康観察では、「4)とても参考になった」26名(27%)「3)参考になった」26名(27%)「2)あまり参考にならなかった」27名(28%)「1)全く参考にならなかった」10名(11%)

であった。記入なしは7名(7%)実習期間において学生がマンツーマンで園児の体調管理を実施することはないが、安全管理の面からもしっかりと理解をしないといけない演習項目といえる。6. 沐浴では、「4)とても参考になった」13名(14%)「3)参考になった」24名(25%)「2)あまり参考にならなかった」23名(24%)「1)全く参考にならなかった」28名(29%)であった。記入なし8名(8%)沐浴は新生児期におこなうものであり、保育所においては実施することがないものである。しかし、「2)あまり参考にならなかった」「1)全く参考にならなかった」「記入なし」のそれぞれに将来のために知っておいてよかったと言う記入があり、保育士養成という立場でなく将来の育児学、子育て学として捉えると有効な演習だと言える。7. 吐物処理では、「4)とても参考になった」13名(14%)「3)参考になった」24名(25%)「2)あまり参考にならなかった」19名(20%)「1)全く参考にならなかった」29名(30%)であった。記入なしは11名(11%)しかし、「2)あまり参考にならなかった」「1)全く参考にならなかった」「記入なし」の中に、実施していませんという記入が多くみられた。しかし、唯一実際に体験した学生がいてその学生は、実施して大変さがわかったと記入していることから、安全な環境づくり、感染予防からもしっかりと理解させないといけない項目になる。8. 救急処置では、「4)とても参考になった」17名(18%)「3)参考になった」34名(36%)「2)あまり参考にならなかった」20名(20%)「1)全く参考にならなかった」18名(19%)であった。記入なし7名(7%)は自動車学校の復習が出来て良かったと言う感想が多かった。9. 手洗いは、「4)とても参考になった」55名(58%)「3)参考になった」24名(25%)「2)あまり参考にならなかった」10名(10%)「1)全く参考にならなかった」4名(4%)であった。記入なし3名(3%)自由記述感想の中に、何人か子どもへの指導が出来て良かったと書いた学生がいた。

## 2. 幼稚園実習

幼稚園では実習期間中、3歳児から5歳児まで各クラスを重複して経験していた。3・4・5歳児33名。3・4歳児2名。3・5歳児2名。4・5歳児4名。3歳児のみ4名。4歳児のみ4名。5歳児のみ7名。幼稚園に看護職員、養護教諭がいたかの設問にはいないとした学生が34名、看護職員がいました4名、養護教諭・看護職員両方ともいました5名、わからない13名であった。

幼稚園実習では、未満児に特に関係する1. 抱っこ、寝かせ方2. 調乳・授乳6. 沐浴を省いた6項目での集計とした。3. 衣服着脱・おむつ交換では「4)とても参考になった」31名(56%)「3)参考になった」18名(32%)「2)あまり参考にならなかった」5名(9%)「1)全く参考にならなかった」1名(1.5%)記入なし1名であり、園児の衣服交換の動作介助指導が出来たとする記入があった。4. 身体計測「4)とても参考になった」10名(18%)「3)参考になった」17名(30%)「2)あまり参考にならなかった」11名(20%)「1)全く参考にならなかった」14名(25%)記入なし4名(7%)「2)あまり参考にならなかった」「1)全く参考にならなかった」記入なしでは実施していない、見学してませんの記述があった。5. バイタルサイン・健康観察は「4)とても参考になった」7名(13%)「3)参考になった」14名(25%)「2)あまり参考にならなかった」18名(32%)「1)全く参考にならなかった」11名(20%)記入なし1名。「2)あまり参考にならなかった」「1)全く参考にならなかった」では体調の悪い園児がいなかった、実施していませんと記述されていた。7. 嘔吐物処理「4)とても参考になった」9名(16%)「3)参考になった」14名(25%)「2)あまり参考にならなかった」11名(20%)「1)全く参考にならなかった」17名(30%)記入なし5名(9%)「1)全く参考にならなかった」記入なしでは実施していない、みていないの記述多い。8. 救急処置「4)とても参考になった」13名(23%)「3)参考になった」17名(30%)「2)あまり参考にならなかった」13名(23%)「1)全く参考にならなかった」9名(16%)記入なし4名(8%)9. 手洗いは「4)とても参考になった」30名(53%)「3)参考になった」17名(30%)「2)あまり参考にならなかった」7名(13%)「1)全く参考にならなかった」1名(2%)記入なし1名(2%)であり、園児の指導に使えたと記述する学生がいた。

## 3. 施設実習

施設実習を経験した学生82名。その内訳は児童養護施設21名。乳児院13名。児童養護施設と乳児院6名。児童養護施設と障がい者施設10名。乳児院と障がい者施設3名。障がい者施設25名。施設に医務室があっ



たかの設問には、医務室があったとするものと、解からないとするものがほぼ同数。明らかになかったというものは、各施設で1名～2名であった。アンケートでは施設実習という大きなくくりで質問したのであるが、障がい程度、年齢層、疾病の有無など施設によって実習生が体験できるものには、大きな差異が生じるが今回は、あくまでも子どもの保健演習での沐浴を省いた8項目でのチェックとした。1. 抱っこ・寝かせ方「4」とても参考になった」29名(36%)「3」参考になった」20名(24%)「2」あまり参考にならなかった」10名(12%)「1」全く参考にならなかった」23名(28%) 乳児院では「4」とても参考になった」「3」参考になった」が多くみられた。2. 調乳・授乳「4」とても参考になった」18名(22%)「3」参考になった」14名(17%)「2」あまり参考にならなかった」15名(18%)「1」全く参考にならなかった」33名(40%) 記入なし2名(3%) 3. 衣服着脱・おむつ交換「4」とても参考になった」25名(30%)「3」参考になった」10名(12%)「2」あまり参考にならなかった」16名(20%)「1」全く参考にならなかった」28名(34%) 記入なし3名(4%) 乳児院、児童養護施設で高い評価となっていた。4. 身体計測「4」とても参考になった」10名(12%)「3」参考になった」16名(20%)「2」あまり参考にならなかった」17名(21%)「1」全く参考にならなかった」34名(41%) 記入なし5名(6%) 5. バイタルサイン・健康観察「4」とても参考になった」20名(24%)「3」参考になった」22名(27%)「2」あまり参考にならなかった」17名(21%)「1」全く参考にならなかった」18名(22%) 記入なし5名(6%) 7. 嘔吐物処理「4」とても参考になった」17名(20%)「3」参考になった」13名(16%)「2」あまり参考にならなかった」15名(18%)「1」全く参考にならなかった」30名(37%) 記入なし7名(9%) 8. 救急処置「4」とても参考になった」16名(20%)「3」参考になった」20名(24%)「2」あまり参考にならなかった」16名(20%)「1」全く参考にならなかった」25名(30%) 記入なし5名(6%) 9. 手洗い「4」とても参考になった」33名(40%)「3」参考になった」22名(27%)「2」あまり参考にならなかった」10名(12%)「1」全く参考にならなかった」17名(21%)

《表1 実習先別アンケート》

実習お疲れ様でした。まだ残している方、あと一踏ん張りです。

さて、子ども保健学演習では講義と演習を受け持ちましたが、その演習項目が「保健所・幼稚園・施設」でどのように活用されたのか、実施機会はあったのか、知識として役に立ったのかを伺います。

講義で行なった授業アンケート(大学からの配布)は全般的な感想であるため、今回一つ一つの演習内容について、皆様から感想を頂き、自己啓発したいと考えております。アンケートへの協力よろしくお願い致します。

■アンケートに関して 4・3・2・1のいずれかに○をお願い致します。

感想は自由記載で構いません、記述頂けると幸いです。

■保育実習について伺います・何歳児を受け持ちましたか(○で囲んで下さい)

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
・保育所(園)に看護職員はいましたか				いた	いない

1. 抱っこ、寝かせ方の演習は役に立ちましたか

※4) とても参考になった・3) 参考になった・2) あまり参考にならなかった・1) 全く参考にならなかった

..... 4      3      2      1

感想)

2. 調乳、授乳の演習は役に立ちましたか

※4) とても参考になった・3) 参考になった・2) あまり参考にならなかった・1) 全く参考にならなかった

..... 4      3      2      1

以上のように3、衣服の着脱、おむつ交換4、身体計測、5. バイタルサイン、健康観察6. 沐浴7. 嘔吐物処理8・救急処置9. 手洗いの項目を記載し、幼稚園、施設の三枚作成した。通園する児の年齢を考慮して、幼稚園のアンケートからは、1. 抱っこ、寝かせ方2. 調乳・授乳6. 沐浴を排除した用紙とした。施設においては、乳児院が含まれたのであるが、児の安全から実習生が沐浴実習することないため6. 沐浴の項目を排除した。最後のアンケート用紙には自由記載欄をもうけた。

■様々な施設で実習する上で、その他に学校で学びたい内容はありますか。些細な点でも自由に記入ください  
貴重な時間を頂き有難うございました。お力添えに感謝致します。 R1・11・27 吉本

《表2 アンケート結果一覧》

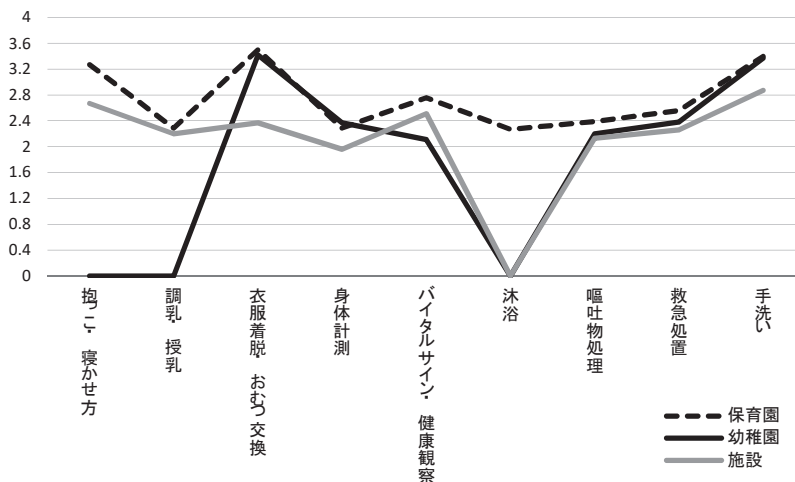
※4)とても参考になった・3)参考になった・2)あまり参考にならなかった・1)全く参考にならなかった

実習先	学内演習内容	4	3	2	1	記入なし
保育所	1. 抱っこ、寝かせ方	39人 (41%)	47人 (49%)	7人 (7%)	3人 (3%)	0
	2. 調乳,授乳	20人 (21%)	18人 (19%)	24人 (25%)	29人 (31%)	4人 (4%)
	3. 衣服着脱,おむつ交換	61人 (64%)	24人 (25%)	7人 (7%)	3人 (3%)	1人 (1%)
	4. 身体計測	16人 (17%)	21人 (22%)	26人 (27%)	27人 (28%)	6人 (6%)
	5. バイタルサイン,健康観察	26人 (27%)	26人 (27%)	27人 (28%)	10人 (11%)	7人 (7%)
	6. 沐浴	13人 (14%)	24人 (25%)	23人 (24%)	28人 (29%)	8人 (8%)
	7. 嘔吐物処理	13人 (14%)	24人 (25%)	19人 (20%)	29人 (30%)	11人 (11%)
	8. 救急処理	17人 (18%)	34人 (36%)	20人 (20%)	18人 (19%)	7人 (7%)
	9. 手洗い	55人 (58%)	24人 (25%)	10人 (10%)	4人 (4%)	3人 (3%)
幼稚園	1. 抱っこ、寝かせ方	—	—	—	—	—
	2. 調乳,授乳	—	—	—	—	—
	3. 衣服着脱,おむつ交換	31人 (56%)	18人 (32%)	5人 (9%)	1人 (1.5%)	1人 (1.5%)
	4. 身体計測	10人 (18%)	17人 (30%)	11人 (20%)	14人 (25%)	4人 (7%)
	5. バイタルサイン,健康観察	7人 (13%)	14人 (25%)	18人 (32%)	11人 (20%)	1人 (1.5%)
	6. 沐浴	—	—	—	—	—
	7. 嘔吐物処理	9人 (16%)	14人 (25%)	11人 (20%)	17人 (30%)	5人 (9%)
	8. 救急処理	13人 (23%)	17人 (30%)	13人 (23%)	9人 (16%)	4人 (8%)
	9. 手洗い	30人 (53%)	17人 (30%)	7人 (13%)	1人 (2%)	1人 (2%)
施設	1. 抱っこ、寝かせ方	29人 (36%)	20人 (24%)	10人 (12%)	23人 (28%)	0
	2. 調乳,授乳	18人 (22%)	14人 (17%)	15人 (18%)	33人 (40%)	2人 (3%)
	3. 衣服着脱,おむつ交換	25人 (30%)	10人 (12%)	16人 (20%)	28人 (34%)	3人 (4%)
	4. 身体計測	10人 (12%)	16人 (20%)	17人 (21%)	34人 (41%)	5人 (6%)
	5. バイタルサイン,健康観察	20人 (24%)	22人 (27%)	17人 (21%)	18人 (22%)	5人 (6%)
	6. 沐浴	—	—	—	—	—
	7. 嘔吐物処理	17人 (20%)	13人 (16%)	15人 (18%)	30人 (37%)	7人 (9%)
	8. 救急処理	16人 (20%)	20人 (24%)	16人 (20%)	25人 (30%)	5人 (6%)
	9. 手洗い	33人 (40%)	22人 (27%)	10人 (12%)	17人 (21%)	0

《参考》実習先別人数

※保育所は受持重複

保育所実習 (計96人)	幼稚園実習 (計56人)	施設実習 (計82人)
0歳児 88人	3・4・5 歳児 33人	児童養護 21人
1歳児 88人	3・4 歳児 2人	乳児院 13人
2歳児 86人	3・5 歳児 2人	児童と乳児院 6人
3歳児 88人	4・5 歳児 4人	児童養護と障がい者 10人
4歳児 92人	3 歳児のみ 4人	乳児院と障がい者 3人
5歳児 89人	4 歳児のみ 4人	障がい者 25人
	5 歳児のみ 7人	記述なし 4人



《図3 実習先別平均比較》

## V. 考察

学内での講義・演習（1年後期）が1月に終了し2月から10月までの学外実習での内容についてアンケートを実施したが、記録に残らない学生の声として「先生終わったらすぐしないと忘れる」「こんな感じだったと思うよ」と短時間で記入した学生もいた。それぞれの実習終了後にアンケートを実施していれば、自由記述欄への書き込みが細部にわたり記入されたかもしれない。保育所では実習期間中、未満児も含め各年齢層を学生は経験していたが、園児の年齢によって質問しておらず、保育所というひとくくりでのアンケートにしたため、子どもの年齢によって必要とされる技術、演習項目に差異があり、学生はチェックしづらかったと思われる。例をあげると、抱っこやおむつ交換などは、0歳児に必要であるが、年長児には必要でなく、トイレトレーニングや声掛けが必要である。いつ、どのような時に声掛けするのか、声掛けのタイミングとともにズボンの上げ下げや後始末の仕方をどう指導するのかなどである。

保育所（園）に看護職員はいたかについては、アンケートの結果からも、実習報告会での発表からも職員構成が細部にわたり報告されないケースもあり、学生がはっきりと意識していないのではないかと考えられる。実際は、社会福祉法、児童福祉法、児童福祉施設の設定及び運営に関する基準、児童福祉施設の設定及び運営の基準を定める条例（都道府県条例）では保育所に配置しなければならない職員の職種、資質及び職員数などについて定めており、乳児9人以上を入所させる保育所にあつては保健師又は看護師1名を置き、乳児6人以上を入所させる保育所では保健師又は看護師1名を置くように努めることとされている。「保育所における乳児に係る保母の配置基準の見直し等について」平成10年4月9日児発第305号。により、乳児6人以上を入所させる保育所に係る保育士定数については、保健師又は看護師を置く場合には1名に限って、保育士とみなすこととされている。ただ、待機児童の問題が社会にクローズアップされ保育士不足の起こった時には看護師（准看護師）を保育士免許がなくても働かせることができるなどの厚労省（政府）の意見が数年前に新聞紙面ににぎわしたことを考えると園の中での職員の役割分担、職員の連携を子どものすこやかな育ちのために培っていかなければならない。そのためには他と協力出来る知識が必要となってくる。さらにそのことから今以上に養護についての関心を高め、保育の環境整備や、健康・安全管理に配慮できる学生を育てなければならない。

幼稚園（保育園にもいえる）は社会情勢の変化に伴い、認定こども園に移行している所もあるが、2歳児を受け入れたりと、延長預かりを実施したりと学校環境さらに従来の年齢構成に変化も見られ、子どもの発達段階を考えると幼児教育に特化するだけでは安全に園児をみられないことも起ってくる。そのためにも子どもの健康観察、安全に配慮できるための知識を十分に養いわずかな変化に気づく学生にしなければいけない。

施設については、社会の要請もあるが、その施設の特異性と入所児（者）のもつ疾病、障害、受ける弊害について多くの学びをさせて、豊かな人間性をもった職員になれるべき学生を育てなければならない。施設実習アンケートでは施設入所者の年齢、障害によって質問しておらずただ大きく施設のひとくくりでのアンケートになっており、コミュニケーション技術や問いかの技術などは学内演習では時間をかけてしておらず、これからの課題になる。

## VI. 結論

今回、本学にある媒体、施設を利用し先人が行ってきた演習項目を半ば踏襲するような形（はじめて受け持ったときであるが、すでに学生はテキストを購入していた）で実施している演習9項目について学生にアンケートをとったのであるが、すべての項目において学生は実習先で自身が経験した項目については、「4）とても参考になった」「3）参考になった」とし、実際の方で見学した、職員から説明や質問をされた項目に関しては「3）参考になった」と評価している。「2）あまり参考にならなかった」「1）全く参考にならなかった」、記入なしとしている場合は、実際にしていない、見ていないのでわからないということもある。ただ、知識不足のため幅広い視野から自分のおかれている環境、状況が受け止められず、なにも出来ず、目の前の子ども（利用者）のそばにただでなにも参考にならないと思う学生が存在するのではないかと考えられる。

講義方法については、学生がより能動的に動き、考えることのできるよう一コマ講義、振り返り小テス

ト、次の時間は前回講義振り返り本日の演習の留意点・注意点を説明しながらしてみせて、言って聞かせてさせてみて、さらにメンバー間（3～5名）でチェックリストを使用して練習を繰り返す。しかし、経験がなく仕方ないことではあるが、デモ人形と実際の子どもでは、動き、精神活動などにとっても言葉で言い表すことのできないぐらい多くの情報を私たちに投げかけてくる。演習中に本当の子どもならという視点を常に待たせ、動作援助の根拠や留意点を今より時間をかけて説明してゆけば演習項目は実習中の振り返り材料となるかもしれない。現在、本学には新生児人形の他は使用できるデモ人形はいない。新生児人形であるため乳児保育の分野にも思える赤ちゃんの抱っこのしかたや、授乳、沐浴を将来もしかしたら役に立つかもしれないと思い育児学、母性学のような感じで学内演習を実施してはいるが、保育士養成課程の見直しと時期を同じにして今回のアンケートをもとに学内演習項目を見直さなければならない時期になったのかもしれない。

## VII. おわりに

今回の調査は、子どもの保健演習から子どもの健康と安全に科目の再編がなされる前に科目履修（演習）した学生の実習先での実習結果である。教科名もかわり、より実践力のある保育士養成が求められる中、養護の観点から子どもの疾病とその予防、体調不良時の適切な対応が理解出来、保健活動計画が立案できるように学生の視点にたって学生の学びを大切にしながら内容の検討をしていきたい。授業が終わり、一分でも早く下校したい気持ちを抑えアンケートに協力して下さった学生に感謝する。

## 参考文献

- 1) 石井 悠、病棟保育士の役割の検討、医療と保育、日本医療保育学会、16（2018）40-54
- 2) 保育ナビ、新しい指針・要領を保育の実践に、乳児から幼児、育ちを見通した保育へフレーベル館、第10巻、第2号、2019年5月 10-20
- 3) 保育ナビ、新3法令実施、法令を保育現場にどうつなげるか フレーベル館、第9巻、第1号、2018年4月 4-23
- 4) 吉田麻美、吉川未桜、田中美樹、小児看護学実習における学生のインシデント、傾向の分析と課題、九州・沖縄小児看護教育研究会誌、2019年8月 14-17
- 5) 佐藤益子・中根淳子編著、子どもの保健1、ななみ書房、2018年2月、新版第2刷
- 6) 兼松百合子・荒木暁子・羽室俊子編著、子どもの保健実習第2版、同文書院、2017年
- 7) アクティブ・ラーニングと環境教育、日本環境教育学会 編、小学館、2016年初版
- 8) 小林美由紀編著、子どもの保健テキスト、診断と治療社、2018年11月初版
- 9) 大西文子編集／執筆、子どもの健康と安全、中山書店、2019年、9月初版第1刷
- 10) 小林美希、ルポ保育崩壊、岩波新書1542、岩波書店、2015年4月
- 11) 厚生労働省・保育士養成課程等検討会、第9回平成29年12月4日資料
- 12) わかりやすい保育所運営の手引き、新日本法規、新日本法規出版株式会社

## A Study on Effectiveness of On-Campus Exercise

Noriko YOSHIMOTO

Department of Childhood Care and Education, Kyushu Women's Junior College  
1-1, Jiyugaoka, Yahatanishi-ku, Kitakyushu-shi 807-8586, Japan

### Abstract

Students who aim to acquire a childcare teacher / nursery teacher qualification will complete a number of on-site training and educational training in order to acquire the qualification by completing the prescribed courses and practice courses.

The fact that the evaluation and self - affirmation at the training place will lead to motivation as a future childcare worker is often felt when interviewing students who are considering employment. Our university conducts a class feedback questionnaire, and the overall evaluation of the lecture is shown by numerical values.

However, how to use the exercise items that have been taught in the child health and safety classes, which are compulsory for childcare and electives, and practice necessary daily care, first aid, and infection control, in nursery schools, kindergartens, and facilities. It was impossible to read in the feedback questionnaire that it was useful, whether it was implemented, or it was useful as knowledge.

In the on-campus exercises, items that can be carried out with demonstration dolls as necessary care for daily life (hugging / lying, breast feeding / clothes removal / diaper change, body measurement, bathing exercises) and performing items (vital signs / health observation, vomiting treatment, first aid, hand washing) that allow the student to become an elephant, and incorporate minutes into the lecture I am trying.

At this time, we asked the students to study the contents of the exercises, which of the four types, "useful" "relatively useful" "less useful" "nothing" The evaluation was made according to the age of the children at the training destination and the presence or absence of disabilities, but the actual taken items were evaluated as 4, 3, and those not implemented or not observed were 2, 1, 0. There were many opinions that the free description was useful for future childcare.

Because you did not observe it because you did not visit it, you can acquire the knowledge that is the basis of the technique firmly at the on-campus exercises. It is necessary to consider the content of the lesson.

Key words : childcare teacher, on-campus exercises, class content